

# NICHIAS

2023年 2月 発行

スチールウッドコア製フリーアクセスフロア

# ニチアス NOAフロア<sup>®</sup>



 **ニチアス**

## 資源循環

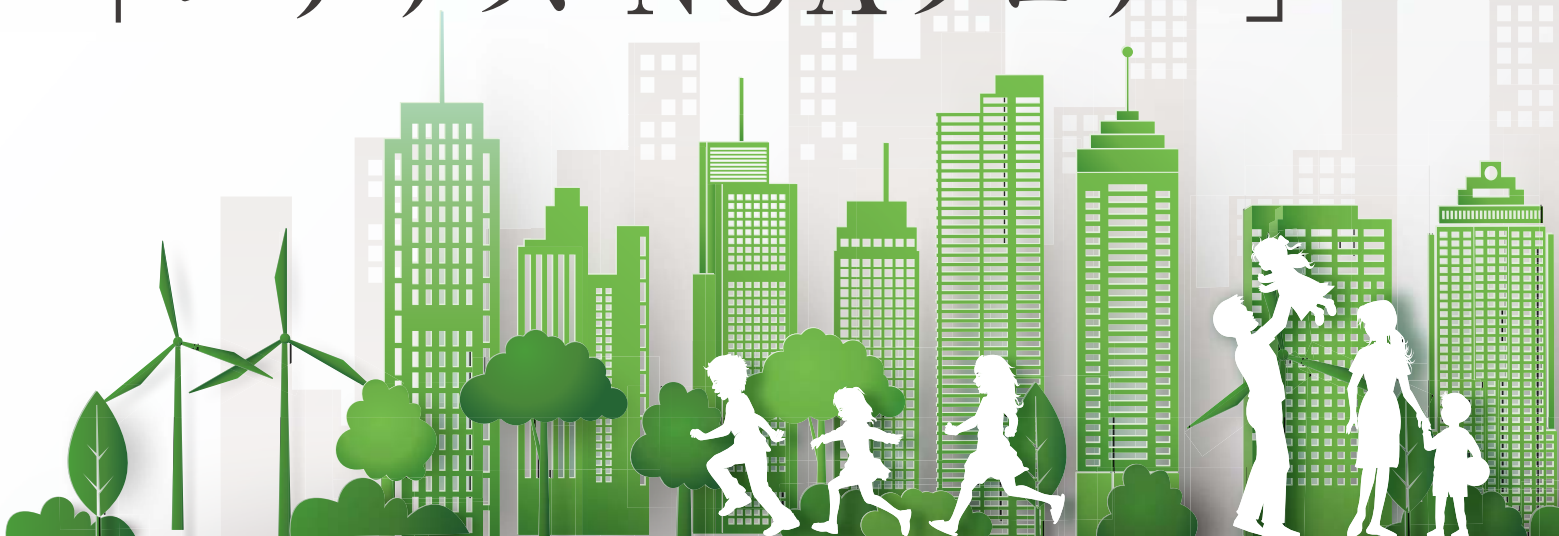
NOAフロアの芯材であるパーティクルボードは原則100%廃木材からなるリサイクル材を使用しています。建築廃材を有効利用することで循環経済の実現に貢献します。



環境への負荷を減らし、  
持続可能な暮らしを支える。

スチールウッドコア製 ノア

「ニチアス NOAフロア®」



## 軽量化

NOAフロアは窯業系の当社従来製品と比較して36%軽量化しました。建築物そのものを軽量化することにより、トータルコストの削減につながります。



※®が付されている名称はニチアス(株)の登録商標です。

# 炭素固定化

芯材に木材を使用することで木材が吸収した二酸化炭素を固定化することができます。  
使用量の多い建築資材だからこそ、固定化による削減効果は大きなものとなります。

NOAフロア1枚あたりのCO<sub>2</sub>固定化量：5kg-CO<sub>2</sub>



# CO<sub>2</sub> 排出量削減

NOAフロアは当社従来製品と比較して原材料調達から廃棄までにかかるCO<sub>2</sub>排出量を25%削減した製品です。



製造時排出CO<sub>2</sub>削減量：10kg-CO<sub>2</sub>/m<sup>2</sup>

ニチアス NOAフロア®は、  
軽量で環境負荷の少ない、  
新しいフリーアクセスフロア。  
建築廃材などを利用したコア材で  
環境に配慮した次世代の  
オフィスビル建築が実現できます。



原材料  
調達

1.

### 環境負荷の少ない再生材を使用

製品のコア材に採用している木質材は、住宅解体時の廃材から成型されたチップを原則100%<sup>注1</sup>使用。それらをボード成型してできた、環境負荷の少ない材料から作られています。また、支持脚に取り付けるPP製樹脂部材も再生材を使用しています。

注1：木質材の供給状況により、変動する可能性があります。



生産

2.

### 環境負荷の少ない製法

電気のみを使用する生産方式で、排ガスなどが発生しません。環境負荷の少ない生産方式を採用しました。



施工例 (タイルカーペット敷設)



施工例 (表面仕上げ材無し)  
※表面仕上げ材は必ず使用してください。

## 施工現場

### 3. 軽量パネルにより負荷低減

当社従来製品(ニチアスシグマフロア)より36%軽量になったことで、養生設備・施工作業の負荷を低減。また、システム重量も軽量化し、躯体への負荷も減らしました。

## 廃棄

### 4. 現場回収廃材も利用可能

建築現場で発生する養生合板や型枠合板などの木質廃材を回収。その後チップ化、コア材ボードへの再資源化を経て、再びNOAフロアとして現場に納入することもできます。

パネル

製品コア材として強度の高いパーティクルボードを採用し、鋼板で表裏面をカバー。  
許容集中荷重(短期荷重)により、3000N、5000Nの2グレードから選択できます。

グレード	3000N		5000N	
パネルタイプ	0	PK	0	PK
外観				

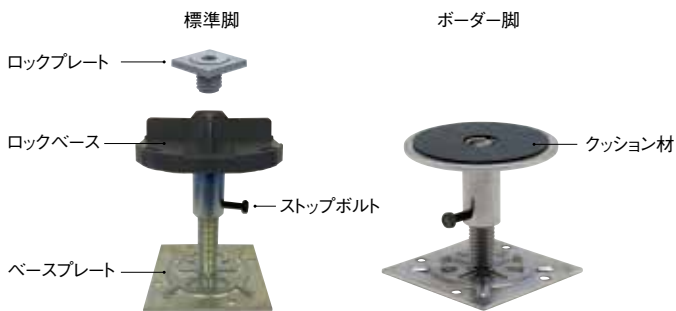
パネル仕様

グレード	パネルタイプ	開口	許容集中荷重 :短期荷重(N)	許容積載荷重 :長期荷重(N)	厚み (mm)	サイズ (mm)	パネル重量 (kg/枚)
3000N	0	なし	3,000	2,000	21.3	パネル □498.5 モジュール □500	5.5
	PK	あり					
5000N <span style="color:red">近日発売予定</span>	0	なし	5,000	3,300	27.5	パネル □498.5 モジュール □500	7.0
	PK	あり					

※製品面に製造上で生じる小さなスジや痕などが発生することがありますが、製品性能上問題ありません。  
※ロットにより表面性状が異なることがあります。

支持脚

支持脚は標準脚とボーダー脚をご用意し、仕上がり高さは50mmから300mmまでラインアップ。  
標準防錆処理は、電気亜鉛メッキ(三価クロメート処理)を採用しています。



支持脚種類

仕上がり高さ <sup>注1</sup> (mm)	標準脚	ボーダー脚
50	75ENOA50N	75EN50
60	75ENOA60N	75EN60
80	75ENOA80NL	75EN80
90	75ENOA90NL	75EN90-120
100	75ENOA100NL	
125	75ENOA125NL	
150	75EiNOA150NL	75EN150-200
175	75EiNOA175NL	
200	75EiNOA200NL	
225	150ENOA225N	E225-300
250	150ENOA250N	
275	150ENOA275N	
300	150ENOA300N	

注1: 設計上の数値となり、実施工では不陸に配慮する必要があります。

## フサギ板

PKタイプで配線切り欠きのある開口フサギ板。3000N用と5000N用の2種類をご用意しています。

3000N用  
FK3-A



5000N用  
FK5-0



近日発売予定

## オプション品

### 【支持脚】

■セキュリティタイプ  
特殊ネジによってパネルをロックするシステムです。  
通常のドライバー、六角レンチでは開閉できないため、セキュリ  
ティー性を高めます。

■ウイスカ対応  
亜鉛ウイスカ<sup>注1</sup>対策として一般的なニッケルメッキ処理を施した  
支持脚です。

注1：亜鉛ウイスカ/電気亜鉛メッキ部から発生する導電性を有すヒゲ状結晶で、  
コンピューター機器に影響を及ぼすと言われています。



セキュリティタイプ



ウイスカ対応

### 【専用アップコンセント】

■株式会社TERADA様のアップコンセントがPKパネルに対応します。  
専用アップコンセントの取り付けに必要な床下空間は、65mm以上です。

取付可能アップコンセント



CEC70000



CEE70000



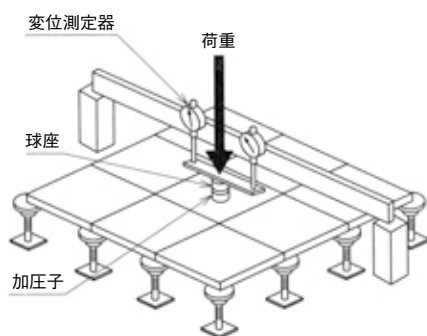
蓋閉



蓋開

パネル取付例

### 静荷重試験



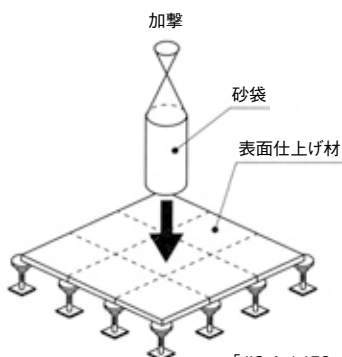
「JIS A 1450:2021」より抜粋

■ 準拠規格：JIS A 1450:2021

■ 試験方法：パネル4隅を所定の支持脚で支持し、φ50の荷重子にて所定荷重を載荷。所定荷重時の変形量と残留変形を測定します。

グレード	所定荷重	載荷点	所定荷重時の変形量	残留変形
3000N	3000N	最弱部	5mm以下	3mm以下
5000N	5000N			

### 衝撃試験



「JIS A 1450:2021」より抜粋

■ 準拠基準：JIS A 1450:2021

■ 試験方法：パネル4隅を所定の支持脚で支持し、底面径φ190・重量20kgの砂袋を40cmの高さから加撃し、残留変形を測定する。

グレード	載荷点	残留変形
3000N	最弱部	3mm以下
5000N		

### ローリングロード試験

■ 準拠基準：JIS A 1450:2021

■ 試験方法：ウレタン被覆キャスター(直径150mm、幅40mm、硬さ85HS以上)に、1,000Nを负荷させて、10,000回(5,000往復)走行させます。

グレード	載荷点	残留変形
3000N	最弱部	3mm以下
5000N		

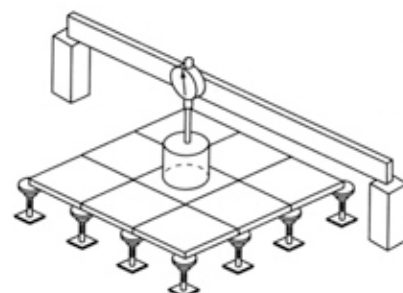
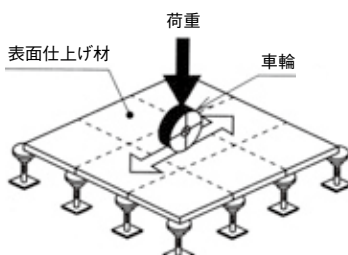
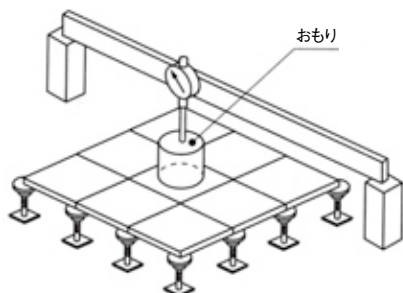
零点設定(負荷前)



負荷



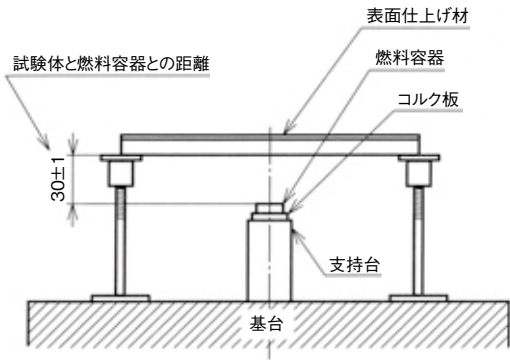
変形測定(負荷後)



「JIS A 1450:2021」より抜粋



燃焼試験



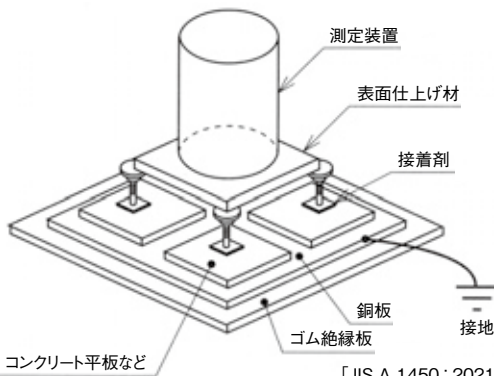
「JIS A 1450:2021」より抜粋

■ 準拠基準：JIS A 1450：2021

■ 試験方法：パネル下部で燃焼させ、燃料が燃え尽きたときからパネルの炎が消えるまでの時間を測定します。

グレード	残炎時間
3000N	0秒
5000N	

帯電性試験



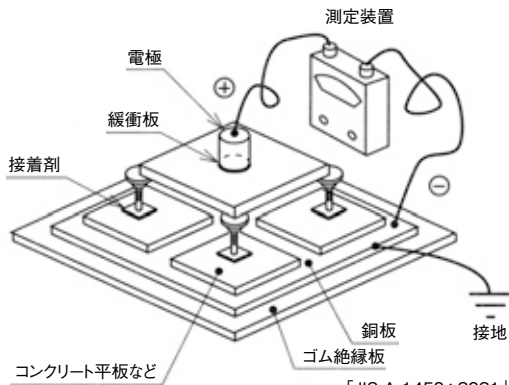
「JIS A 1450:2021」より抜粋

■ 準拠基準：JIS A 1450：2021

■ 試験方法：JIS A 1455に規定する測定装置を使用し、表面仕上げ材を敷設したパネル上面とアースの最大帯電電位と半減時間を測定します。U値の計算はJIS A 1455に規定する計算式を用います。

グレード	パネル表面	U値
3000N	タイルカーペット 6.5mm	0.6以上
5000N		

漏えい抵抗試験



「JIS A 1450:2021」より抜粋

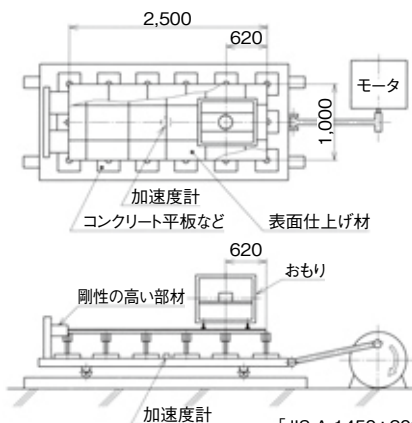
■ 準拠基準：JIS A 1450：2021

■ 試験方法：パネル上面とアースの抵抗値を測定します。

■ 測定条件：電圧500V負荷、温度20±5℃、湿度30±10%RH

グレード	パネル表面	漏えい抵抗値(Ω)
3000N	表面仕上げ材なし	1.0×10 <sup>6</sup> 以上
5000N		

振動試験



「JIS A 1450:2021」より抜粋

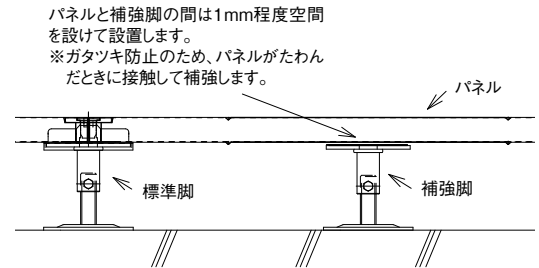
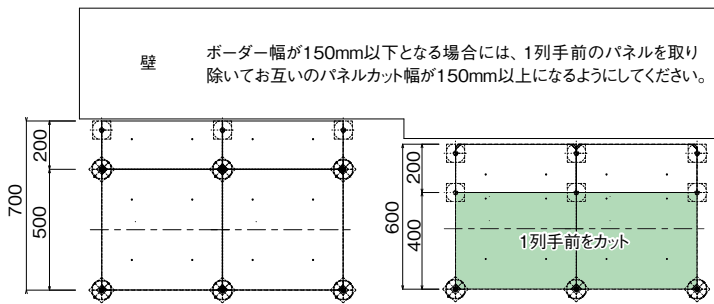
■ 準拠基準：JIS A 1450：2021

■ 試験方法：試験上部に所定重量の錘を載せて、1G,2Hz,3波の正弦波で加振します。

グレード	錘の重量	評価
3000N	200kg	パネルの脱落がないこと
5000N	350kg	

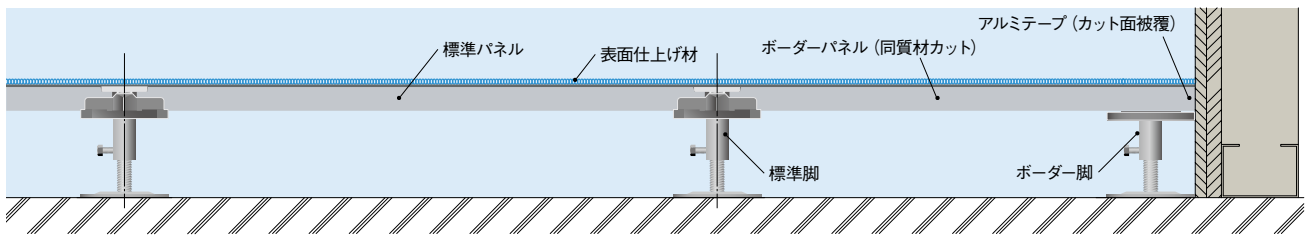
ボーダー部の施工

- NOAフロアは同質材をカットしてボーダー部を納めることが出来ます。
- 切断面はバリを取り除き、アルミテープで被覆します。
- 壁との取り合い辺は、2~4mm程度の隙間を空けるか、必要に応じてバックング剤をパネル側面に貼り付けます。
- パネルは丸ノコやバンドソーにてカットします。
- ボーダー幅が150mm以下の場合には、1列分のパネルを除去し、パネル2枚をカット。パネル幅が150mm以上となるように納めてください(下図参照)。カットパネルは耐力が低下しますので、必要に応じて補強脚を設置してください。ガタツキ防止のため、補強脚はパネル裏面から1mm程度空間を空けて設置してください。



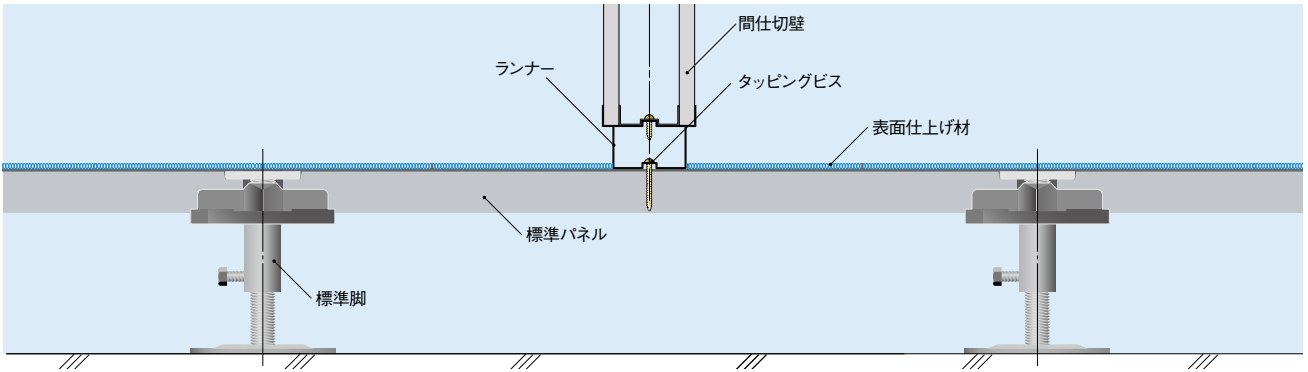
施工断面図

標準施工断面図は下記の通りです。



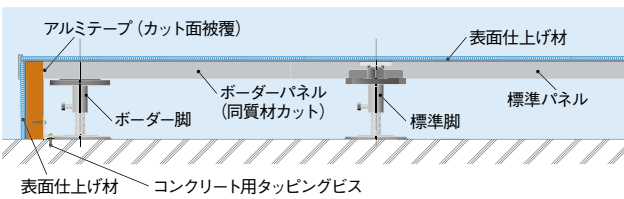
間仕切壁 (別途工事)

「NOAフロア」に下穴を空けて、木ビス止めすることができます。

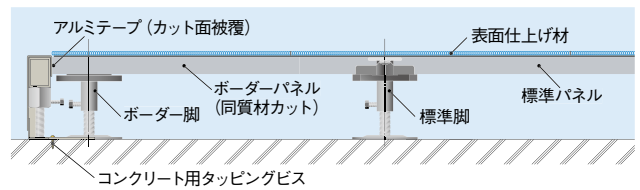


耐火間仕切り壁を「NOAフロア」の上に施工することはできません。

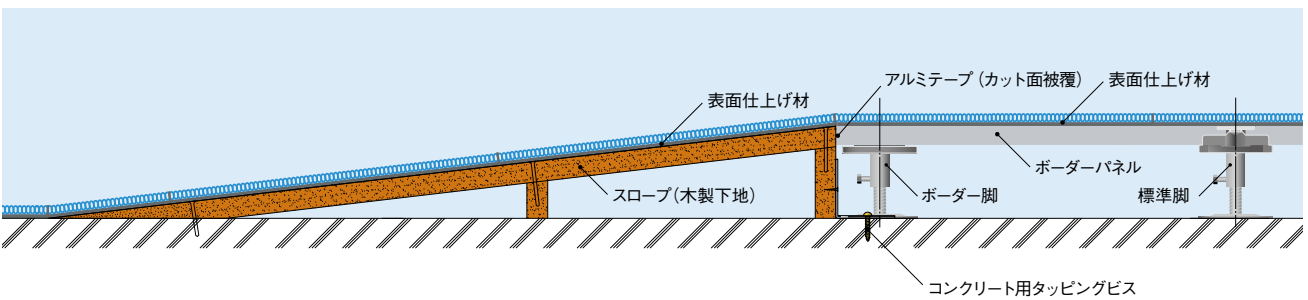
上がりカマチ (木製下地)



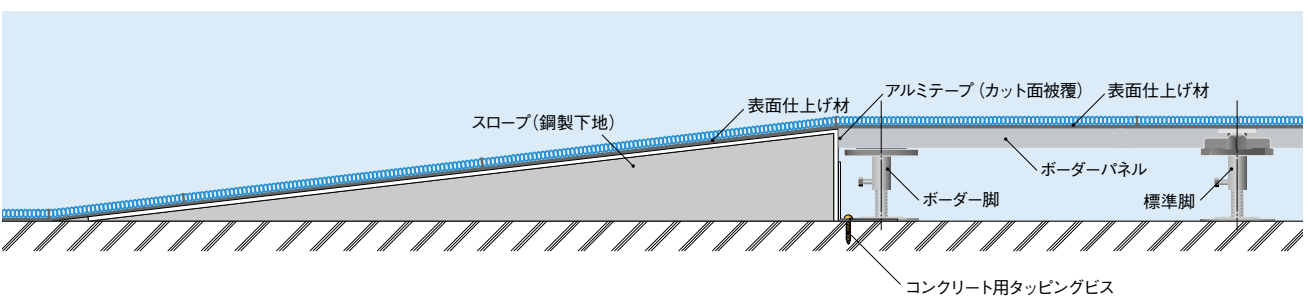
上がりカマチ (SUS製)



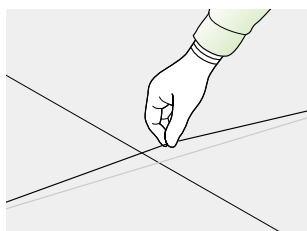
スロープ (木製下地)



スロープ (鋼製下地)



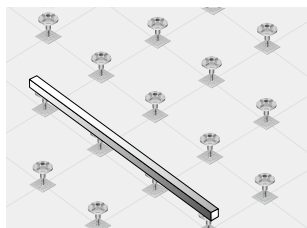
施工手順



**STEP 1**  
建築基準墨および施工図に基づき床面に割付墨を打ちます。



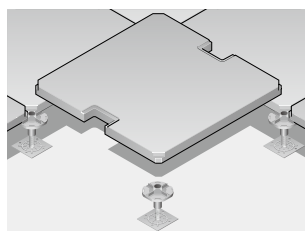
**STEP 2**  
レベラーなどにより基準となる支持脚の高さを調整します。



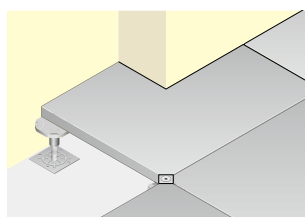
**STEP 3**  
長棒などを用いて支持脚の高さを基準の位置に調整し、ストップボルトを締めこみます。



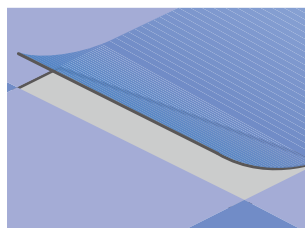
**STEP 4**  
ロックベースを取り付けた支持脚のベースプレート底面に接着剤を塗布し、割付墨に基づいて支持脚を設置します。



**STEP 5**  
レイアウトに支持脚の接着後すぐにパネルを敷き込みロック部材で締め付けます。



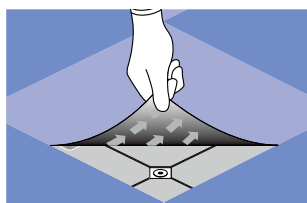
**STEP 6**  
ボーダーパネルなど取り合い部分を施工します。



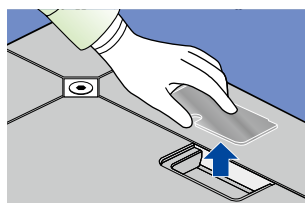
**STEP 7**  
タイルカーペットなどを施工します。当社推奨カーペット糊塗布量30～60g/m<sup>2</sup>(ピールアップ型)

※詳細は各メーカーの施工仕様に従ってください。  
また、カーペット糊の塗り過ぎは、粘性が強すぎてパネル表面およびカーペットを傷つける場合がありますので、ご注意ください。

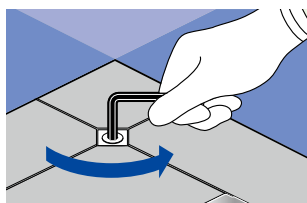
メンテナンス



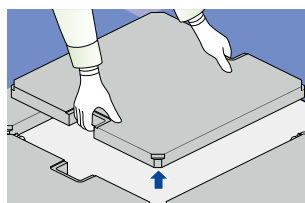
**1**  
表面仕上げ材(タイルカーペットなど)の角を指先で摘み上げて、開閉したいパネルにかかる表面仕上げ材を取り除いてください。  
※表面仕上げ材には方向性があるので、戻す時のために位置、方向を記録しておいてください。  
※必ず手袋を着用してください。



**3**  
フサギ板を取り外してください。(紛失にご注意ください。)  
※5000Nパネルはパネルリフターでパネルを持ち上げてフサギ板を外してください。



**2**  
六角レンチでロック部材(ロックプレートとロックビス)を取り除いてください。ロック部材は紛失しないようご注意ください。



**4**  
両手でパネルを持ってまっすぐ上に持ち上げてください。必要に応じてサッカーなどの持ち上げ補助具を適時使用してください。  
※表面仕上げ材には方向性があるので、戻す時のために位置、方向を記録しておいてください。  
※鋼板のバリでケガをする恐れがありますので、パネルを持つ際は、必ず手袋を着用してください。

注意事項

- 警告**
- 重量物の落下や、過度の衝撃を加えないでください。パネルが破損し、脱落する危険があります。
  - パネルや支持脚を勝手に加工しないでください。強度が低下し、パネルが破損したり、脱落する恐れがあります。
  - 什器の搬入や移動、設置を行う場合は所定の養生を施し、静かに実施してください。過度の荷重や衝撃によりパネルが破損する恐れがあります。
  - 什器を設置する際は、アジャスターの設置面積がφ50より大きく、かつパネル1枚にかかる荷重の合計が許容積載荷重※P6参照以下となるようにしてください。  

$$\text{【積載可能什器重量計算式】 積載可能な什器の重量} = \frac{\text{パネルの許容積載荷重}}{\text{パネル1枚当たりのアジャスター本数}} \times 3$$
  - 配線などでパネルを外したまま放置しないでください。第三者が立ち入り思わぬ怪我をする恐れがあります。区画表示をするなどして安全処置をしてください。
- 注意**
- フサギ板がない状態でフロアパネルを使用しないでください。穴に足が入るなど思わぬ怪我をする恐れがあります。
  - パネルや支持脚を取り扱う際は、切創防止のため、手袋を着用してください。
  - パネルの敷設の際は、パネル間に手をはさまれないよう十分注意してください。
  - パネルの着脱時に使用するパネルリフターで保持したまま、持ち運ばないでください。落下して思わぬ怪我をする可能性があります。
  - 当社に確認した上でパネルの加工を行う場合は、保護手袋、防じんマスクを着用してください。

一般注意事項

設計上の注意

- フリーアクセスフロア以外の用途に使用しないでください。
- 「パネルの傷、凹み」「経年によるシミ、汚れ」「つまずき、挫きのおそれ」があるので素地のまま使用しないでください。
- 長尺シートで仕上げると目地が浮き出る恐れがあります。長尺シートは使用しないでください。
- パネル施工後、長期間部屋を使用しない場合は、パネルが結露する場合があります。定期的に室内や床下の換気を行ってください。
- 重量用移動棚や輪転機のような繰り返し荷重や振動がかかる什器は、スラブ上の架台などに設置し、パネルと縁を切ってください。
- パーティションや扉をパネル上に設置した場合、パネルがたわみ、支障が生じる恐れがありますので、補強の必要性などについて当社にご相談ください。

施工時の注意

- カタログに記載の内容に従って施工してください。
  - 配線時のパネル着脱を考慮し、カーベットの厚さは70mm以上ずらし貼りしてください。
  - タイルカーペット施工の際のカーペット糊の量は30～60g/m<sup>2</sup>を目安にしてください。糊を塗りすぎるとパネルの目地に入り込み、開閉が困難になったりパネルの擦れ音が発生する可能性があります。また、着脱の際にカーベットの傷める場合があります。
  - パネルや支持脚、副資材を保管する場合は、水が掛からない場所に置いてください。水に触れると錆が発生する場合があります。
  - 重量物や、工事などの台車で運搬する場合は、過大な局所荷重がかからない様、通過する経路に右表に示す基準で木質板などによる養生を行ってください。
- | 重量物              | 養生方法                 |
|------------------|----------------------|
| 300kg以下          | 2mm程度のベニヤ板かビニールシート養生 |
| 300kgを超え500kg以下  | 9mm木質材養生             |
| 500kgを超え1000kg以下 | 21mm木質材養生            |
- 傷がつく場合があるので、パネル同士を引きずらないでください。
  - パネルがたつく恐れがありますので、支持脚のストップボルトの固定は確実に行ってください。
  - 壁際のボーダーパネルは壁と競り合わないよう、隙間を2mm程度確保してください。廊下などの通路部では、ビス留めやバックアップ材の設置など「ずれ防止措置」をしてください。また、断面をアルミテープで保護してください。

重量物の什器搬入および設置上の注意

- 重量物を移動、運搬する場合は、過大な局所荷重がかからないように、通過する経路上表に示す木質板などによる養生を行ってください。
- 転倒する可能性のある什器は、スラブまたは耐力のある壁に固定して、パネルや支持脚への固定はしないでください。
- 1枚のパネルに荷重が集中する場合、パネル上に鉄板やフレームを敷いて荷重を分散させてください。

配線等パネル開閉時の注意

- パネルの取り外しを行った際には、ロック部材、フサギ板を元に戻してください。
- パネルの取り外しを行った際には、がたつき防止のためパネルを元の方向に戻してください。
- レイアウト変更、配線工事による加工やフロア部材の交換が必要な場合は、当社営業担当者までご連絡ください。

清掃時の注意

【タイルカーペットの場合】

- 日常作業としてタイルカーペットは、業務用大型掃除機または家庭用掃除機にて清掃してください。
- 定期作業としてパウダークリーニングを行ってください。
- パネルに水や薬品がかからないようにしてください。
- パウダークリーニングや染み抜きの方法は、清掃業者または表面材仕上げ材メーカーにお問い合わせください。
- 日常作業として、掃除機による清掃またはモップなどによる乾拭きを行ってください。
- 定期作業としてパフがけによる磨きまたは、クリーナーにて清掃を行ってください。汚れが落ちない場合は、剥離剤により塗布されているワックスを除去してください。
- 清掃時に水分、クリーナー、剥離剤およびワックスが目地に入らないようにしてください。
- 一般のワックスを使用する場合は帯電防止効果を阻害する場合がありますので、帯電防止用床材用ワックスを使用してください。

廃棄上の注意

- パネル、支持脚、副資材は一般産業廃棄物として、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、適切な処理を行ってください。

# Note



# Note



お問合せは最寄りの営業拠点までお願いします。

## 建材事業本部

札幌営業所	TEL (011) 261-3506
仙台支店	TEL (022) 374-7141
東京営業部	TEL (03) 4413-1163
富山営業所	TEL (076) 424-2688
静岡支店	TEL (054) 283-7322
名古屋営業部	TEL (052) 611-9217
大阪営業部	TEL (06) 6252-1301
岡山支店	TEL (086) 424-8011
広島支店	TEL (082) 506-2202
九州営業部	TEL (092) 739-3636

## 本製品以外を扱う支店・営業所

北海道支店	TEL (0144) 38-7550
福島営業所	TEL (0246) 38-6173
日立営業所	TEL (0294) 22-4321
鹿島支店	TEL (0479) 46-1313
宇都宮営業所	TEL (028) 610-2820
前橋営業所	TEL (027) 224-3809
千葉支店	TEL (0436) 21-6341
横浜支店	TEL (045) 508-2531
神奈川支店	TEL (046) 262-5333
新潟営業所	TEL (025) 247-7710
若狭支店	TEL (0770) 24-2474
山梨営業所	TEL (055) 260-6780
浜松支店	TEL (053) 450-2200
豊田支店	TEL (0565) 28-0519
四日市支店	TEL (059) 347-6230
京滋支店	TEL (0749) 26-0618
堺営業所	TEL (072) 225-5801
神戸営業所	TEL (078) 381-6001
姫路支店	TEL (079) 289-3241
宇部営業所	TEL (0836) 21-0111
徳山支店	TEL (0834) 31-4411
四国営業所	TEL (0897) 34-6111
北九州営業所	TEL (093) 621-8820
長崎支店	TEL (095) 801-8722
大分営業所	TEL (097) 551-0237
熊本支店	TEL (096) 292-4035

## 本社 〒104-8555 東京都中央区八丁堀1-6-1

・基幹産業事業本部	TEL (03) 4413-1121
・工業製品事業本部	TEL (03) 4413-1131
・高機能製品事業本部	TEL (03) 4413-1141
・自動車部品事業本部	TEL (03) 4413-1151
・建材事業本部	TEL (03) 4413-1161

## 研究所

・鶴見 ・浜松

## 工場

・鶴見 ・王寺 ・羽島 ・袋井 ・結城

## 海外拠点

・インドネシア ・マレーシア ・シンガポール ・ベトナム  
・タイ ・中国 ・インド ・ドイツ ・チェコ ・メキシコ

## ⚠️ カタログについてのご注意

本カタログを参照する場合、以下の点に注意してください。

- このカタログに記載の製品は、カタログに記載の用途をはじめとする一般的な用途での使用を意図しています。きわめて高度な品質・信頼性が要求され、本製品の不具合が直接人命に関わるような用途で使用される場合は、事前に必ず当社にご相談のうえ、お客様の責任で必要な対策を実施してください。
- 記載の物性値は、実際の使用環境や使用状況などにより変化しますので、あくまで目安としてご覧ください。
- 記載の内容は、製品単体での特性を表したものです。実際のご使用に際しては、必ず実条件での使用確認を行ったうえでご使用ください。
- 記載の内容は予告なく変更あるいは製造を中止することがあります。カタログの最新版を入手いただき内容をご確認ください。本カタログの発行時期は本頁に記載しております。当社ホームページのカタログダウンロードページにて最新版カタログの発行時期をご確認ください。なお、最新版ではないカタログの記載内容については保証致しかねますので、あらかじめご了承ください。
- 記載の規格、認定、法律などの条文は最新のものに準拠していない場合があります。
- 記載の情報について、複写、模倣、流用、転載などの著作権法によって保護されている権利を侵害する行為は固くお断りします。
- 記載の製品を使用したことにより、第三者の工業所有権に関わる問題が発生した場合、専ら当該製品

- に原因を有するもの以外につきましては、当社はその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 記載されている製品のうち、外国為替及び外国貿易法にて規制される貨物の輸出、技術の提供に際しては、同法に基づく輸出許可が必要です。
- 当社は、当社製品に係る以下の損害については、一切の責任を負いませんのでご注意ください。
  - ・天災地変・災害および当社の責に帰すべからざる事故により生じた損害
  - ・当社以外の第三者による当社製品の改造・修理・その他の行為により生じた損害
  - ・お客様およびご使用者様の故意・過失ならびに当社製品の誤使用・異常条件下での使用により生じた損害
  - ・当該製品の使用条件・使用環境・使用期間等の諸条件を考慮した定期的な点検と適切な保守・メンテナンス・交換を怠ったことにより生じた損害
  - ・当社製品の使用または使用不能に起因して生じた間接損害(営業上の損害、逸失利益および機会損失などを含みます)
  - ・当社製品の出荷時の技術水準では予見不可能な事態により生じた損害
  - ・その他当社の責に帰すべからざる事由により生じた損害